

関市スポーツ推進計画 後期計画

平成27年度～平成31年度



「いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまち せきし」 ～1市民1スポーツで“みんながハッピーライフ”～

平成27年3月
関市教育委員会

目次

第1章 計画改定にあたって	1
1 計画改定の趣旨	1
2 計画の性格	2
3 計画の期間	2
第2章 スポーツを取り巻く現状と課題	3
1 成人の運動・スポーツ	3
2 子どもの運動・スポーツ	5
3 市のスポーツ施策	8
4 後期計画策定に向けた課題	10
第3章 基本的考え方	11
1 基本理念	11
2 基本目標	12
3 数値目標	13
4 施策の体系	14
第4章 基本施策	15
1 生涯スポーツの推進	15
2 競技スポーツの推進	21
3 子どもの運動・スポーツ活動の推進	24
4 支えるスポーツの推進	26
5 スポーツ環境の諸整備	29
第5章 推進に向けて	35
1 推進体制	35
2 計画の評価と進行管理	36
参考資料	
1 関市スポーツ推進審議会条例	38
2 関市スポーツ推進審議会委員	39

第1章 計画改定にあたって

1 計画改定の趣旨

近年、少子高齢化や生活習慣病の増加、共働き世代の増加や情報社会の進展等による地域コミュニティの衰退等、地域は様々な問題に直面しています。こうした社会において、スポーツは、心身の健康増進に寄与するだけでなく、スポーツを介して地域や仲間とのつながりを生み出すなど、人々の健康づくり、生きがいづくり、そして地域のコミュニティづくりに大きな役割を果たすことが期待されています。

平成23年8月、「スポーツ基本法」が50年ぶりに改訂され、平成24年3月には同法に基づき「スポーツ基本計画」が策定されました。スポーツ基本法は、全ての国民にスポーツを楽しむ権利「スポーツ権」を認めるとともに、地域スポーツクラブの支援や障がい者スポーツの支援等の基本的な方向性を示しています。

岐阜県においては、平成27年3月、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定されました。「スポーツ立県・ぎふ」を基本目標として掲げ、また、スポーツ推進の6つの柱として「競技スポーツの推進」「地域スポーツの推進」「学校体育の推進」「障がい者スポーツの推進」「スポーツによる地域振興」「スポーツ環境の整備」を位置づけ、計画を推進することとしています。

本市に関わるスポーツをめぐる最近の動きとしては、平成24年9月、岐阜県で47年ぶり2度目となる「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」が開催されました。市内の競技会場では、ぎふ清流国体で4競技、ぎふ清流大会で2競技が開催され、300名以上の「ぎふ清流国体関市ボランティア」が大会を支えました。ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を通じて、市民のスポーツに対する関心は高まったと考えられ、今後、その関心の高まりを継続していくことが重要です。

そして、平成28年には第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜、平成32年には東京オリンピック・パラリンピックの開催、第33回全国健康福祉祭岐阜大会（ねんりんピック）の開催が予定され、今後、市民のスポーツに対する関心はますます高まることが期待されます。こうしたスポーツに対する機運の高まりを生かして、「する」「みる」「支える」スポーツの好循環を生み出していくことが重要です。

本市は、平成22年3月に「関市スポーツ振興計画」を策定し、「いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまち せきし」を基本理念として、生涯スポーツの振興、競技スポーツの振興、学校における体育・スポーツ、スポーツ環境の諸整備を柱に各種施策を展開してきました。本計画は、前期計画の計画期間の終了に伴い、各種施策や成果指標の達成状況の点検を行い、その結果と前期計画策定以降の社会経済情勢の変化を踏まえて、スポーツ施策を着実に進めていくため、後期計画として策定したものです。

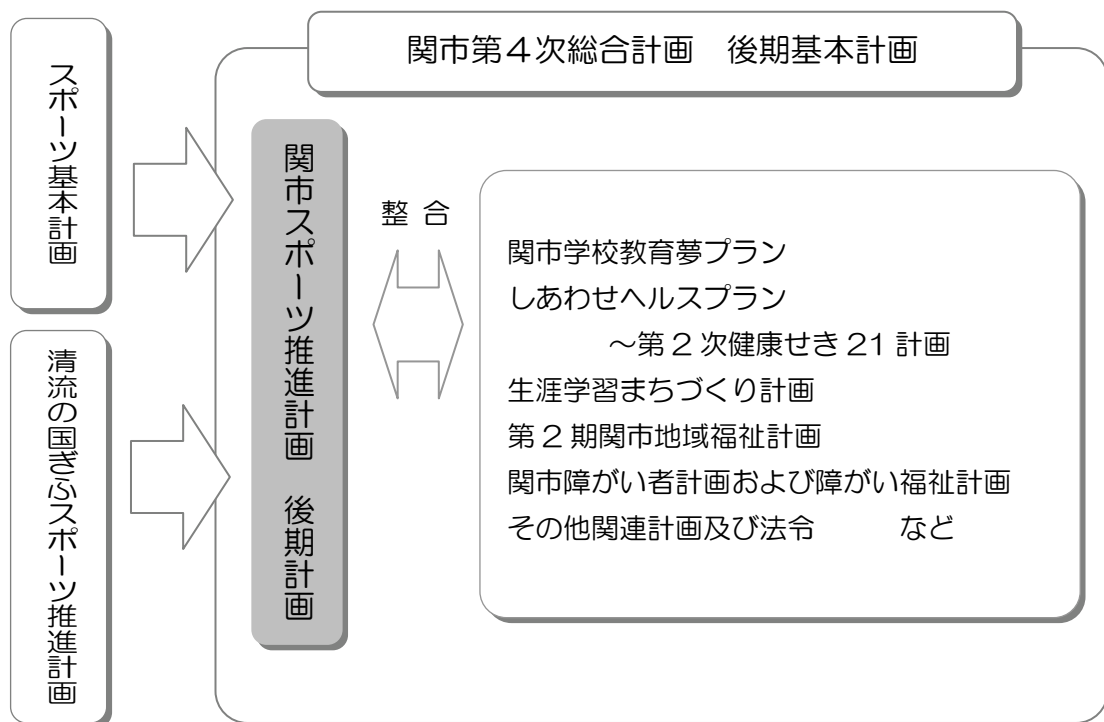
後期計画では、30歳代でスポーツ実施率が低い現状を踏まえて「子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進」を、また、市のスポーツイベント等に対する市民の認知度が低い現状を踏まえて「効果的な広報の充実」等を新規施策に位置づけています。

本市は、「日本一しあわせなまち」にするため、文化・スポーツ分野において「市民一人につき、1学習・1スポーツ・1ボランティア」を広めていくための施策に積極的に取り組んでいくこととしています。本計画は、その中で「1市民1スポーツ」を広めるための施策に積極的に取り組み、いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまち、“みんなでハッピーライフ”の実現を目指すものです。

2 計画の性格

本計画は、上位計画である「関市第4次総合計画」と整合を図るとともに、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。また、国の「スポーツ基本計画」や県の「スポーツ立県・ぎふ」を尊重しつつ、スポーツ基本法第10条により、関市スポーツ推進審議会の意見を聴きながら、本市独自の計画を策定するものです。

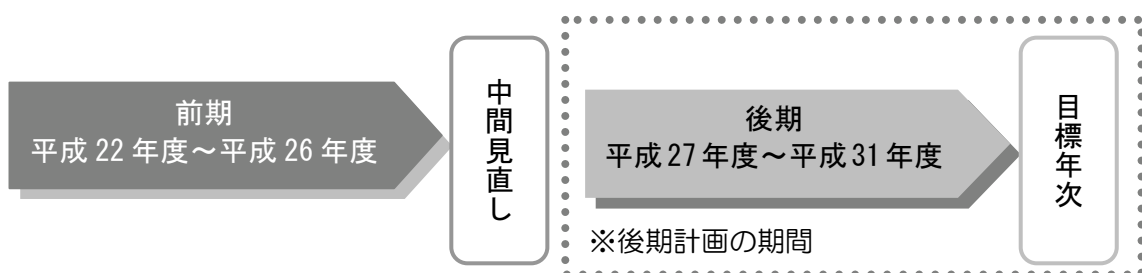
そして、高齢者福祉や学校教育、生涯学習、青少年の健全育成等の関連部署との連携を密にし、市民や関係団体、学校、企業、行政が共通認識を持ち、地域社会全体で生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組むための指針となるものです。



3 計画の期間

計画の期間は、平成22年度から平成31年度までの10年間となります。

本計画は後期計画にあたり、計画期間は平成27年度～平成31年度の5年間です。



第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

平成 26 年度に実施したスポーツに関する市民意識調査（16 歳以上の市民対象・小中学生対象）の結果や統計データから、関市のスポーツを取り巻く現状と課題を分析しました。

1 成人の運動・スポーツ

1 市民の週 1 回以上のスポーツ実施率

○関市では、平成 26 年度調査において、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率は 37.4%となっています。

○平成 20 年度調査では関市の成人の週 1 回以上のスポーツ実施率は 27.8%であり、これと比べると実施率は向上していますが、平成 31 年度目標値の 50.0%には達していません。

○岐阜県や国のスポーツ実施率と比べても低くなっています。（岐阜県：平成 25 年 42.1%、国：平成 25 年 47.5%）

○特に、子育て・働き盛り世代である 30 歳代のスポーツ実施率が低くなっています。

【市民の週 1 回以上のスポーツ実施率（年代・性別）】

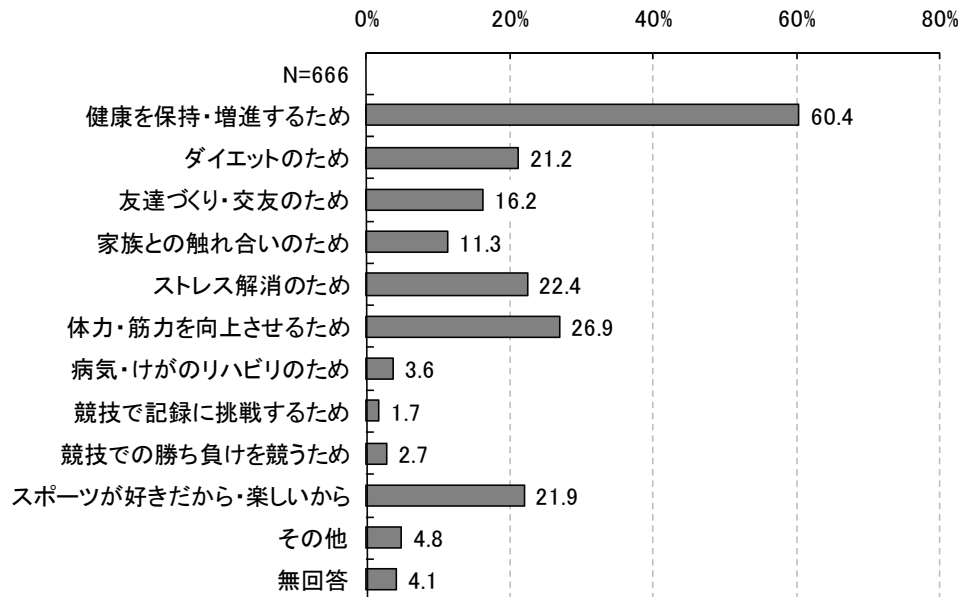
年代・性別		週1回以上スポーツ実施率
10歳代	男性	62.2%
	女性	44.1%
20歳代	男性	47.1%
	女性	31.4%
30歳代	男性	34.0%
	女性	26.9%
40歳代	男性	31.3%
	女性	39.4%
50歳代	男性	42.6%
	女性	38.8%
60歳代	男性	29.8%
	女性	46.9%
70歳以上	男性	49.1%
	女性	39.6%
全体(16歳以上)		38.9%
成人(20歳以上)		37.4%

※「平成 26 年度関市スポーツに関する市民意識調査（16 歳以上の市民対象）」より

2 運動やスポーツを行う理由

○「健康を保持・増進するため」が60.4%と最も多く、次いで、「体力・筋力を向上させるため」26.9%、「ストレス解消のため」22.4%となっています。

【今、運動やスポーツを行っているのはどのような理由からか】

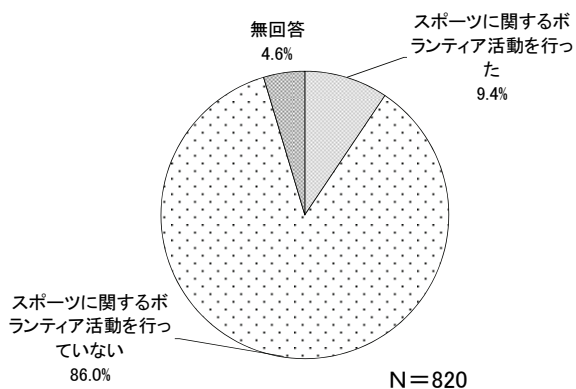


※「平成 26 年度関市スポーツに関する市民意識調査（16 歳以上の市民対象）」より
N：回答者総数

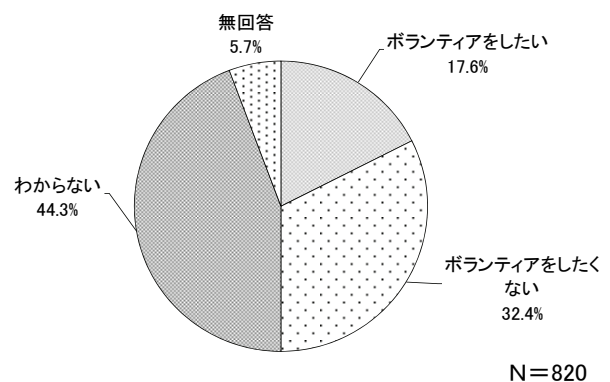
3 スポーツに関するボランティア経験

○この1年間でスポーツに関するボランティア活動をした人は1割程度と少数となっています。
○今後、スポーツに関するボランティア活動をしたい人も2割にとどまっています。

【この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動をしたか】



【今後、スポーツに関するボランティア活動をする機会があれば、ボランティア活動をしたいか】



※「平成 26 年度関市スポーツに関する市民意識調査（16 歳以上の市民対象）」より

2 子どもの運動・スポーツ

1 児童・生徒の体力・運動能力

○関市の新体力テストの結果を見ると、小学5年生、中学2年生の男女ともに、全国平均を下回る種目が大半を占めています。

【平成26年度 関市新体力テストの結果】

関市平均が全国平均を下回るもの

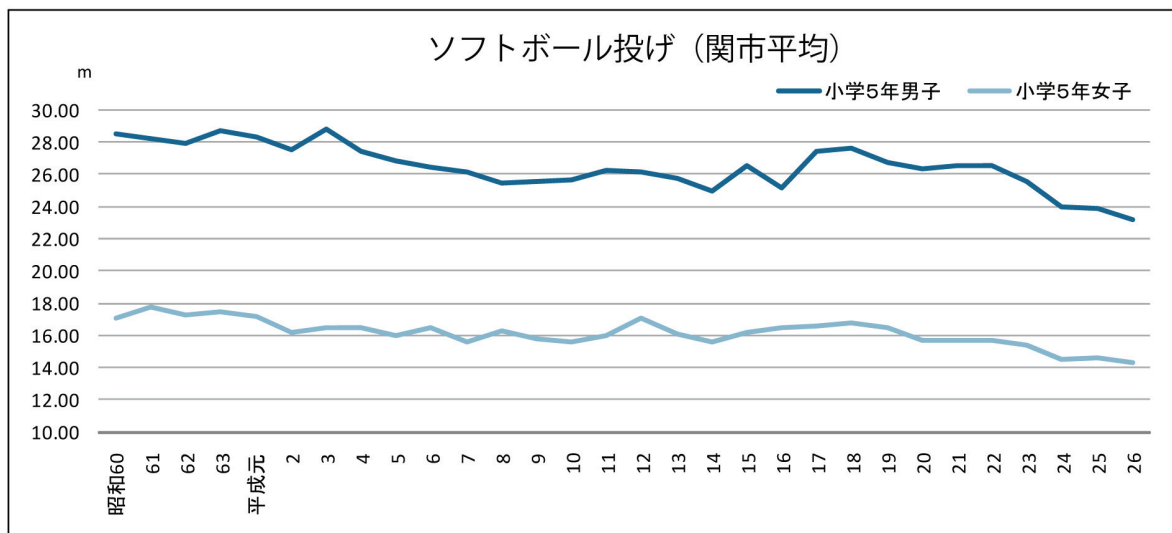
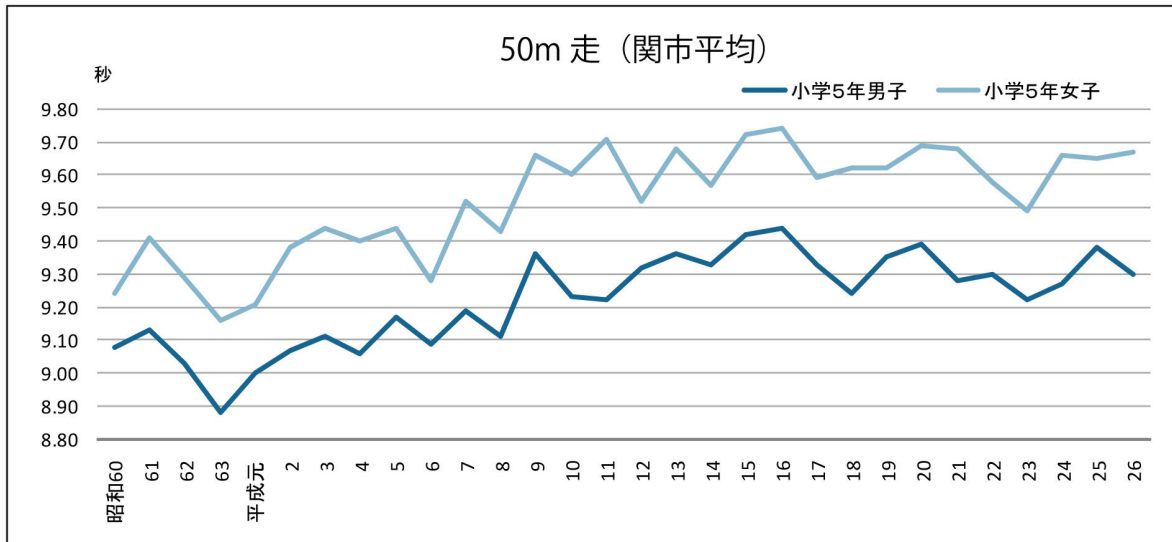
■小学5年生

種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)
5年男子								
関市平均	16.05	20.11	31.89	44.45	50.12	9.30	151.87	23.17
県平均	15.81	19.19	31.95	41.75	50.45	9.35	149.87	23.75
全国平均	16.92	20.28	33.43	43.11	54.70	9.23	156.50	24.86
5年女子								
関市平均	15.52	18.71	36.38	42.46	36.62	9.67	143.11	14.29
県平均	15.46	17.79	36.00	39.40	38.20	9.59	141.48	14.59
全国平均	16.28	18.36	37.23	39.74	41.02	9.58	146.77	14.58

■中学2年生

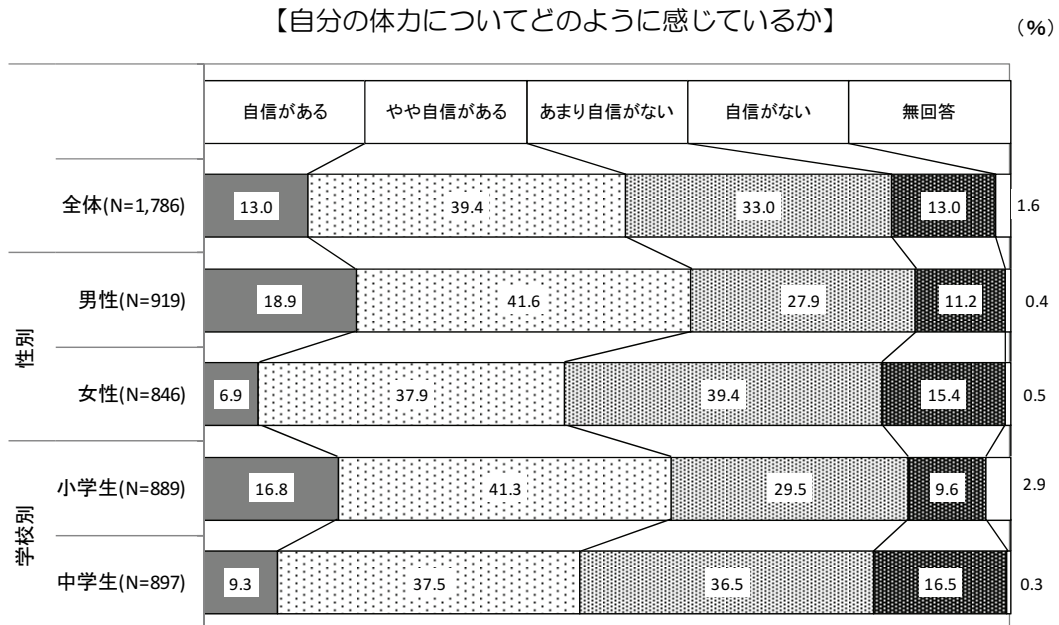
種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)
2年男子								
関市平均	29.00	26.94	42.27	54.44	83.76	8.03	191.22	20.62
県平均	29.34	27.69	44.37	52.31	82.63	8.04	193.68	20.92
全国平均	30.62	27.79	43.91	52.72	87.67	7.89	199.27	21.49
2年女子								
関市平均	24.00	22.36	44.52	47.16	54.21	8.90	164.48	13.30
県平均	23.97	22.78	45.66	45.64	54.11	8.76	165.74	12.95
全国平均	24.42	23.52	44.57	46.76	61.23	8.73	171.74	13.56

○昭和 60 年からの推移では、50m 走やソフトボール投げで、小学生の記録が落ちていきます。



2 体力に対する自信

○「自信がある」と答えた割合は、小学生で 16.8%、中学生で 9.3%となり、中学生で下がる結果となっています。

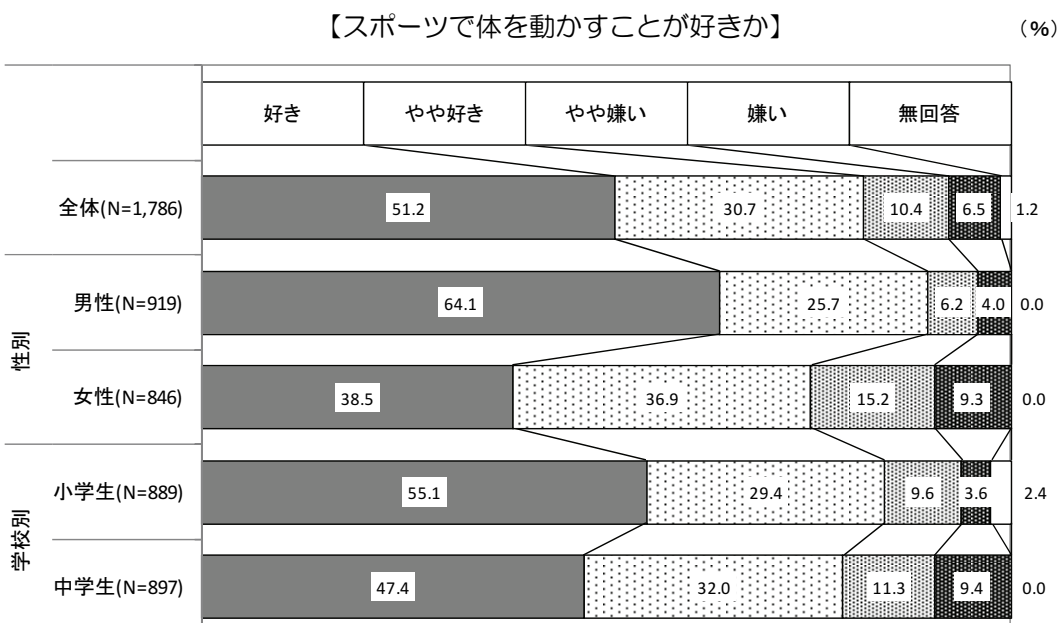


※「平成 26 年度関市スポーツに関する市民意識調査（小中学生対象）」より

3 スポーツは好きか否か

○全体では「好き」と「やや好き」を合わせると 81.9%にのぼっています。

○小学生・中学生別では、小学生の方が「好き」と答える割合が多くなっています。



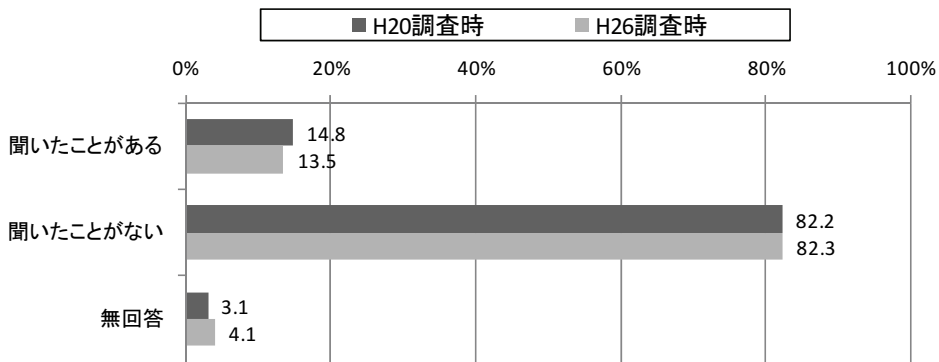
※「平成 26 年度関市スポーツに関する市民意識調査（小中学生対象）」より

3 市のスポーツ施策

1 市のスポーツの施策について

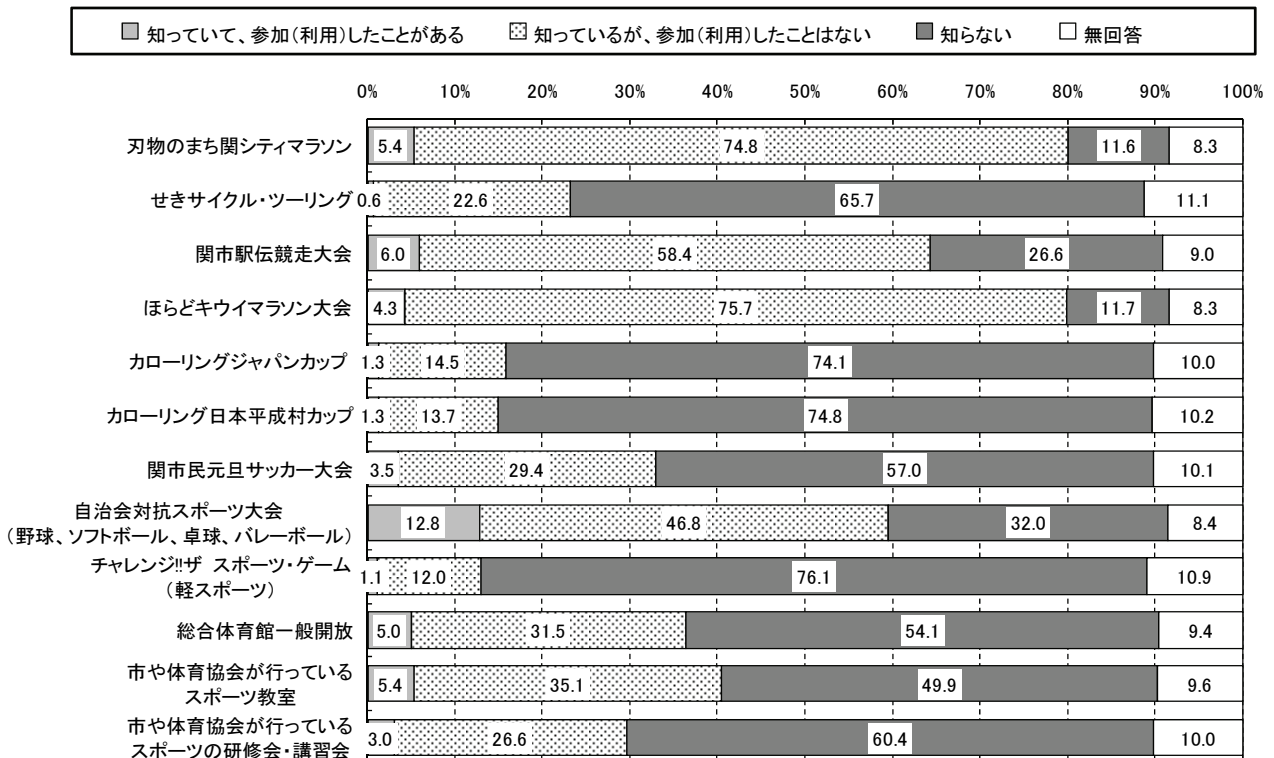
- 総合型地域スポーツクラブの認知度は、「聞いたことがある」人の割合は1割程度と少数となっています。平成20年度に尋ねたときと変わらず、認知度は低い状況となっています。
- 関市のスポーツイベントに対しても認知度が低いものが見られます。

【総合型地域スポーツクラブの名前を聞いたことがあるか】



※「平成26年度関市スポーツに関する市民意識調査（16歳以上の市民対象）」より

【関市内で行われている運動やスポーツに関する行事や取り組みを知っているか】

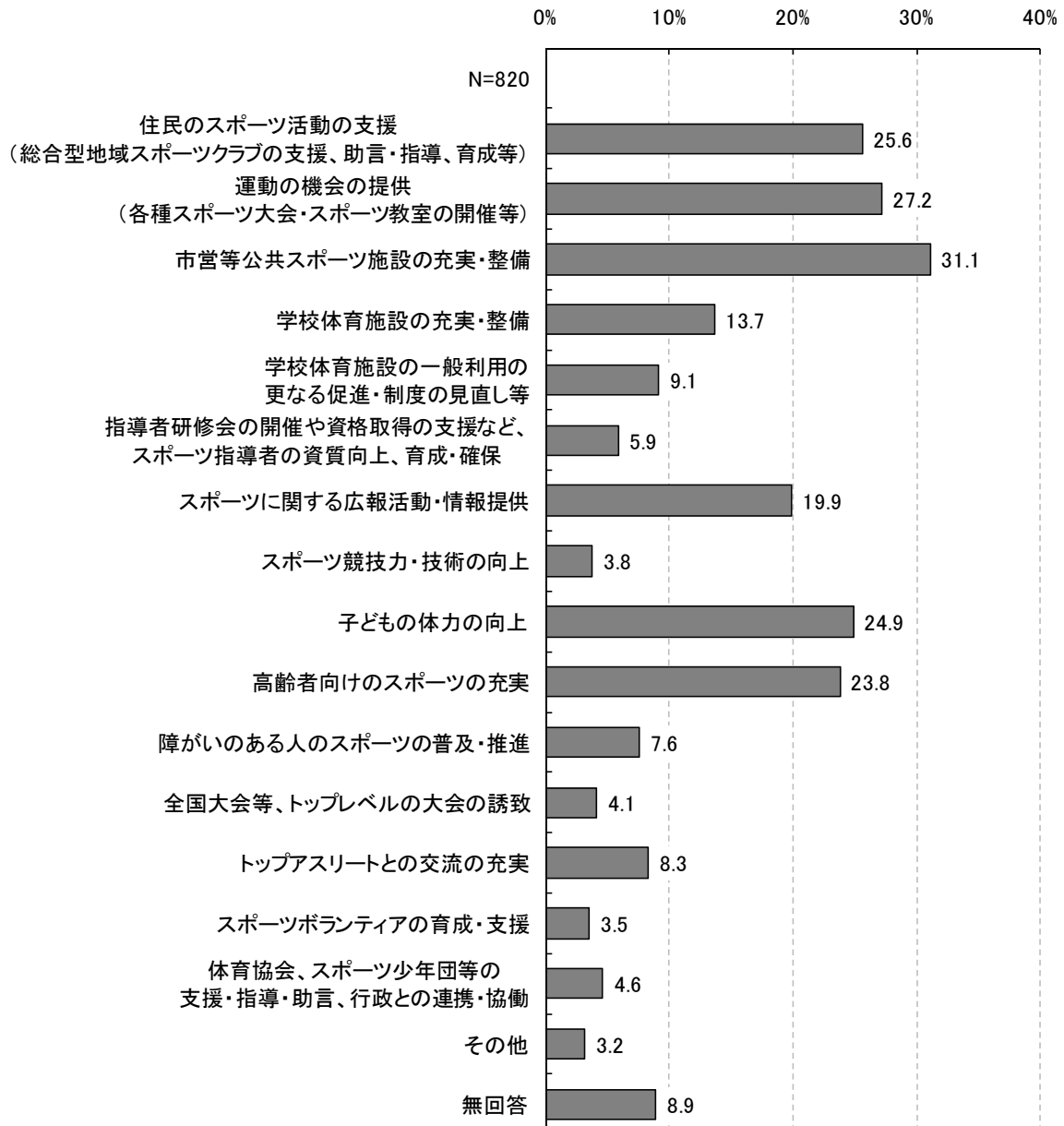


※「平成26年度関市スポーツに関する市民意識調査（16歳以上の市民対象）」より

2 市に望むことについて

- 行政の役割として特に重要なものとして、最も回答が多かったのが「市営等公共スポーツ施設の充実・整備」で31.1%となっています。
- 「子どもの体力の向上」についても24.9%と比較的多くなっています。

【関市におけるスポーツ推進全般に関して、今後の行政の役割として特に重要であると思うもの】



※「平成26年度関市スポーツに関する市民意識調査（16歳以上の市民対象）」より

4 後期計画策定に向けた課題

前項までの結果を踏まえ、関市のスポーツ推進に向けての課題を次の通り示します。

課題1. 子どもの体力向上・スポーツ活動の推進

- ・子どもの体力の低下が見られることから、体力向上を図っていくことが求められます。
- ・学校の体育の授業や体育的行事の中のみでスポーツ活動の充実を図っていくことには限界があることから、学校以外の場におけるスポーツ活動の機会の充実が必要です。
- ・楽しめる遊びや運動をきっかけとして、スポーツにつなげていく工夫が必要です。

課題2. ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進

- ・すべての世代が、気軽にスポーツに親しむようになることで、週1回以上のスポーツ実施率の目標達成を目指していくことが課題です。
- ・特に子育て・働き盛り世代においてスポーツ実施率が低いことから、この世代がスポーツに参加しやすい機会を充実していくことが必要です。
- ・高齢者においては、生きがいづくりや健康寿命を延ばしていくという観点から、運動・スポーツに気軽に親しめる機会の充実やスポーツボランティアとしての参加を促していくことが必要です。

課題3. 「支える」スポーツの推進

- ・スポーツボランティアとしての活動経験が豊富な市民や今後、スポーツボランティアを経験したいという意向を持つ市民は少数であるといえます。
- ・平成28年第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催等の機運を生かし、スポーツボランティアに対する理解や参加促進を図っていくことが必要です。

課題4. スポーツ情報の効果的な発信

- ・市のスポーツ施策やスポーツ行事に対する市民の認知度は低くなっており、スポーツに対する関心喚起やスポーツへの参加促進を図っていくために、スポーツ情報を効果的に発信していくことが課題です。
- ・市民ニーズをとらえて、市民が入手しやすい方法で、必要な情報を発信することが必要です。

第3章 基本的考え方

1 基本理念

スポーツは、「体を動かす」という人間の本能的な欲求に応えるとともに、爽快感、高揚感や達成感などの心理的・精神的充足感をもたらします。また、市内外の人たちとの交流やコミュニケーションを活発にし、人と人との結びつきを深めるとともに、地域の一体感を高めます。さらには、体力の向上及びストレスの解消、生活習慣病の予防など心身両面にわたる健康の保持増進に寄与します。

少子高齢社会の進展や生活が便利になり体を動かす機会の減少が予想される中、市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフを送ることは大きな意義があります。

これまで、あまりスポーツに縁のなかった勤労者や高齢者、障がいがある人々を含め、多くの市民が、ライフステージにおいて、積極的・主体的にスポーツに関わることが重要です。

【基本理念】

**「いつでも、どこでも身近で気軽に
スポーツを楽しめるまち せきし」**
～ 1市民1スポーツで“みんなでハッピーライフ”～

《スポーツの意義と役割》

- ・健康の保持増進、体力の維持向上に役立ちます。
- ・生活習慣病の予防、医療費の節減に寄与します。
- ・精神的なストレスを解消します。
- ・青少年期の人間形成等、教育的に大きな意義を持ちます。
- ・人間的なふれあいを深め、地域の連帯感を醸成します。
- ・爽快感や達成感、満足感等の精神的な充足感や楽しさを与えます。
- ・集団の中で、自己の個性を発揮し、自己実現を可能にします。
- ・観る人にも大きな感動や楽しみ、活力を与えます。
- ・国際的な相互理解と友好・親善を深める役割を果たします。
- ・スポーツ関連産業が活性化し、経済発展に寄与します。

2 基本目標

計画の基本理念に向け、5つの基本目標を掲げます。

(1) 生涯スポーツの推進

健康で活力に満ちた生活が送れるよう、スポーツを生活の中に根付かせ、生涯にわたり、誰もが、いつでも、どこでもスポーツを楽しむことができるよう「生涯スポーツ」を推進していきます。

(2) 競技スポーツの推進

競技力向上の推進、全国的な大会において活躍できる選手・チームを育成していくとともに、「みる」スポーツを楽しむことができるよう「競技スポーツ」を推進していきます。

(3) 子どもの運動・スポーツ活動の推進

学校だけでなく、家庭や地域社会における日常生活において、自ら進んで運動・スポーツを実践できるよう「子どもの運動・スポーツ活動」を推進していきます。

(4) 支えるスポーツの推進

生涯スポーツや競技スポーツ、子どもの運動・スポーツ活動を支える指導者の育成・確保を図るとともに、多くの市民がスポーツボランティアとして関与し、活躍できるよう「支えるスポーツ」を推進していきます。

(5) スポーツ環境の諸整備

既存施設を含めたスポーツ施設の有効活用とともに、情報の提供や団体の育成など、ハード・ソフトの両面からの「スポーツ環境の諸整備」を推進していきます。

3 数値目標

日常生活の中で自主的・継続的にスポーツ活動に親しみ、誰もが、いつでもどこでも、身近で気軽にスポーツを楽しめるよう「1市民1スポーツ」を目標としていきます。

1 市民1スポーツ

本市では、成人の週1回以上スポーツをする人の割合が平成20年度で27.8%、平成26年度で37.4%となっています。前期計画で掲げた平成31年度目標値の50.0%には至っていません。

そこで、成人の週1回以上のスポーツ実施率50.0%の達成を目指し、計画を推進していきます。

成人の週1回以上スポーツをする人の割合

平成20年度
27.8%



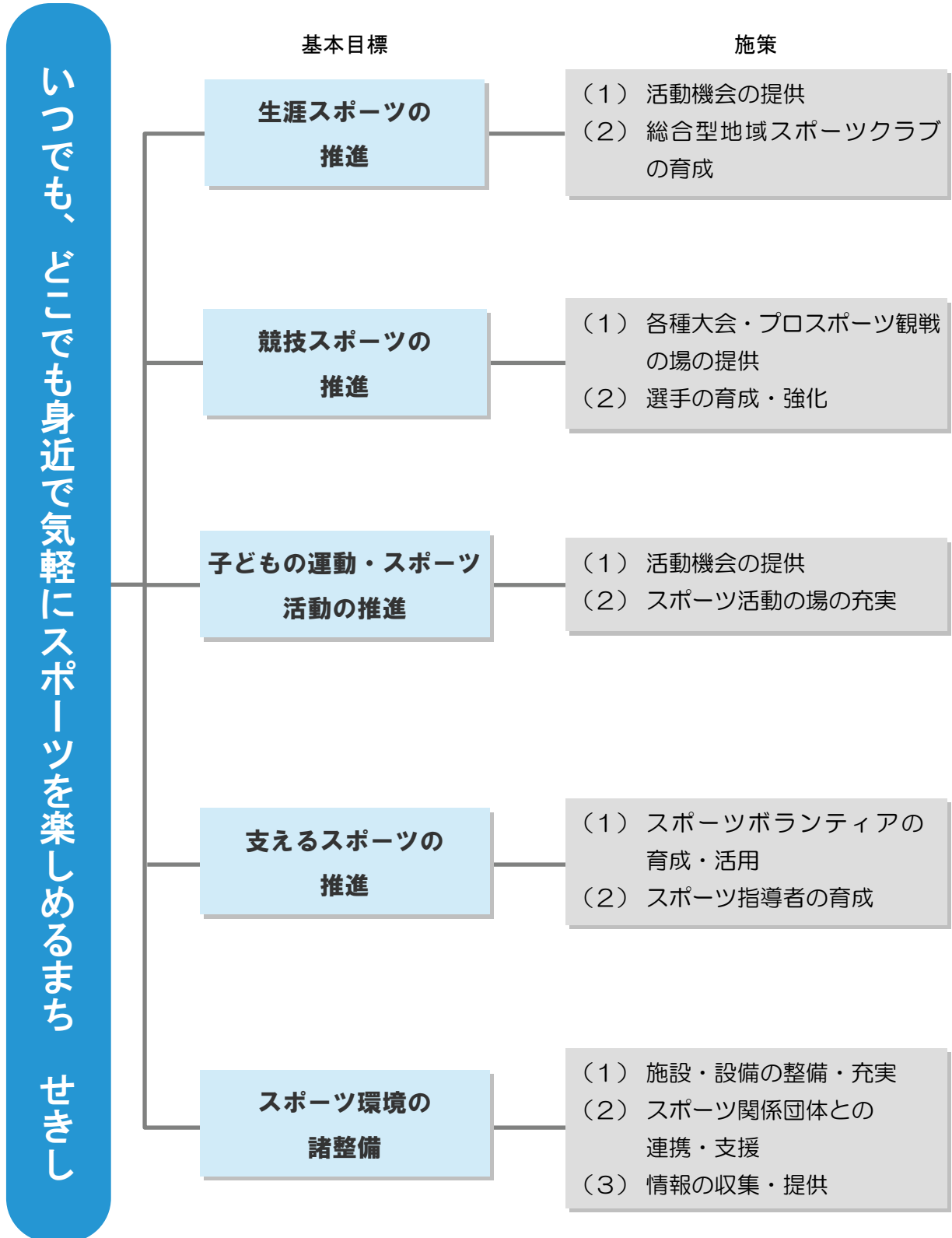
平成26年度
37.4%



平成31年度
50.0%

4 施策の体系

基本理念



第4章 基本施策

1 生涯スポーツの推進



施策(1) 活動機会の提供

市民の誰もが、いつでも、どこでもそれぞれの能力や状況に応じて、手軽にスポーツを楽しみ、継続的にスポーツ活動ができる機会として、スポーツ大会や教室等を定期的に行い、スポーツ活動ができる環境を整備していきます。

競技スポーツだけでなく、市民の健康・体力づくりのための運動を促進していきます。

また、新たなスポーツを取り入れ、市民が気軽に軽スポーツや活動などに参加できる機会を提供していきます。

高齢者や障がい者も気軽に参加できるスポーツレクリエーションなどのスポーツ活動を推進していきます。

施策(1) 活動機会の提供

<取り組み>

- ①身近な地域で参加できるスポーツ事業の推進
- ②健康・体力づくり運動の促進
- ③子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進
- ④高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進

1 身近な地域で参加できるスポーツ事業の推進

①-1 スポーツイベントの開催・内容の充実

- ・多様なスポーツと関わりを持てるよう、マラソン大会や自治会対抗各種スポーツ大会、市民スポレク祭や各種スポーツ大会、講演、レクリエーションスポーツなどのスポーツイベントを開催するとともに、内容の充実を図ります。

【前期実績】

○イベントの継続的開催・内容の充実

刃物のまち関シティマラソン／ほらどキウイマラソン大会／板取カップバイクトライアルスクール&かぶどん大会／BMX耐久レース／関市駅伝競走大会／かみのほ元旦ジョギング大会／関市民ゴルフ大会／関市民元旦サッカー大会／関市自治会対抗ソフトボール大会・バレーボール大会・卓球大会／関市町内対抗野球大会／関市職域野球大会／関市民友好職域バレーボール大会／つぼがわスポレク祭

○各種スポーツ教室の開催

○いきいき軽スポーツの促進

①-2 新たなスポーツイベントの開催

- ・新たなスポーツや市内で行われているスポーツを事業として取り入れ、市民がスポーツを行うきっかけづくりの提供を図ります。

【前期実績】

○新たなイベントの開催

- ・関市自治会対抗グラウンド・ゴルフ大会（平成 26 年度～）
- ・せきサイクル・ツーリング（平成 25 年度～）
- ・関市民スポーツ大会（平成 24 年度～）
- ・チャレンジ!! ザ スポーツ・ゲーム（平成 22 年度～）

①-3 多様な媒体を活用したスポーツイベントの周知

新規

- ・スポーツイベントへの参加者数や参加チームが増えるよう、市ホームページや広報せきに加えて、チラシの発行など、多様な媒体を用いてスポーツイベントを周知します。

【前期実績】

○ホームページや広報せきを活用したスポーツイベントの情報提供

※後期計画で新たに取り組みとして位置づけたものに**新規**の印を付けています。

成果 指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
刃物のまち関シティマラソン	参加者数	1,975 人	2,213 人	2,624 人	増加
ほらどきウイマラソン大会	参加者数	1,529 人	2,150 人	1,778 人	増加
板取カップバイクトライアルスクール&かぶどん大会	参加者数	108 人	106 人	39 人	増加
BMX 耐久レース	参加チーム 参加者数	35 チーム 61 人	76 人	雨天中止	増加
関市駅伝競走大会	参加チーム	127 チーム	144 チーム	159 チーム	増加
かみのほ元旦ジョギング大会	参加者数	約 300 人	286 人	200 人	増加
関市民ゴルフ大会	参加者数	239 人	258 人	208 人	増加
関市民元旦サッカー大会	参加チーム	52 チーム	67 チーム	62 チーム	増加
関市自治会対抗ソフトボール大会	参加チーム	54 チーム	51 チーム	38 チーム	増加
関市町内対抗野球大会	参加チーム	110 チーム	106 チーム	105 チーム	増加
関市自治会対抗バレーボール大会	参加チーム	31 チーム	23 チーム	32 チーム	増加
関市自治会対抗グラウンド・ゴルフ大会（平成 26 年度～）	参加チーム	—	—	53 チーム (平成 26 年度)	増加
関市職域野球大会	参加チーム	45 チーム	44 チーム	40 チーム	増加
関市民友好職域バレーボール大会	参加チーム	9 チーム	8 チーム	6 チーム	増加
つぼがわスポレク祭	参加者数	417 人	381 人	232 人	増加
スポーツ教室の開催	講座数 参加者数	31 講座 874 人	22 講座 567 人	16 講座 446 人	増加
いきいき軽スポーツの促進	参加者数	(障がい者軽ス ポーツの集い) 200 人	(ひまわり軽ス ポーツの集い) 200 人	(ひまわり軽ス ポーツの集い) 100 人	増加
せきサイクル・ツーリング(平成 25 年度～)	参加者数	—	—	238 人	増加

2 健康・体力づくり運動の促進

②-1 ウォーキングイベントの開催

- ・生涯にわたる健康的な生活習慣の一貫として、スポーツを根付かせ、健康・体力づくりの運動を促進します。

【前期実績】

○はもみん・はつらつウォーキングの開催（春季・夏季・秋季・冬季）

成果 指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
はもみん・はつらつウォーキング （春季・夏季・秋季・冬季）	参加者数	152 人	235 人	340 人	増加

3 子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進

③-1 託児サービスの提供促進

新規

- ・子育て中の親が安心してスポーツ活動に取り組めるよう、総合体育館等で開催するスポーツ教室やスポーツイベントにおいて託児サービスの充実を図るとともに、その普及に努めます。

【前期実績】

○総合体育館で開催するスポーツ教室での託児サービスの実施（有料）

成果 指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
スポーツ教室における託児サービス事業 新規	講座数	—	—	5 講座	増加

③-2 総合体育館での夜間のスポーツ教室開催

新規

- ・働き盛り世代が仕事帰りにスポーツに取り組めるよう、総合体育館での夜間のスポーツ教室を実施します。

4 高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進

④-1 レクリエーションスポーツ等の開催

- ・高齢者や障がい者が気軽に参加できるレクリエーションスポーツ等を通じて、高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進を図ります。また、スポーツ推進委員等を通じて市主催のスポーツ活動への参加を呼びかけ、高齢者や障がい者の健康と生きがいづくりを支援します。

【前期実績】

- 高齢者（シニア）ゲートボール大会の開催

成果指標

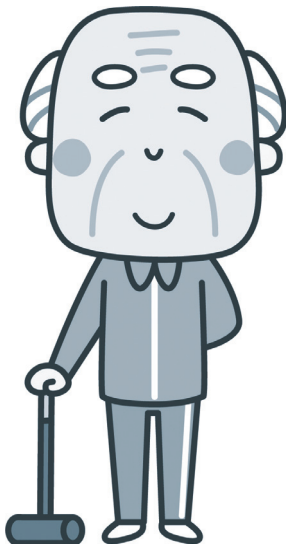
事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
高齢者（シニア）ゲートボール大会	参加チーム	54 チーム	50 チーム	36 チーム	増加

④-2 障がい者との連携・交流促進

- ・スポーツ大会において、障がい者と健常者が、スポーツを通じて交流が図られるように努めます。また、スポーツ大会開催者と障がい者との連携強化に努めます。

【前期実績】

- 関市駅伝競走大会への市内特別支援学校の参加
- 刃物のまち関シティマラソンへの障がい者の参加の呼びかけ



施策(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

総合型地域スポーツクラブは、多種目・多世代・拠点施設を持つなど、会員の自主運営で営まれているクラブです。子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、育成していきます。

また、クラブの運営に必要な経営能力を有する人材をはじめ、各種目の実技指導者、スポーツボランティアなど、必要な人材を育成し資質向上を図ります。

施策(2)

総合型地域スポーツ クラブの育成

<取り組み>

- ①総合型地域スポーツクラブの設立支援
- ②総合型地域スポーツクラブの育成支援

■市内の総合型地域スポーツクラブ（岐阜県認定クラブ）

平成 26 年 7 月 1 日現在

クラブ名	設立年	会員数	主な活動場所
NPO 法人 キウイスポーツクラブ	平成 10 年度	196 人	洞戸小学校体育館、 洞戸中学校体育館など
せきスポーツクラブ	平成 14 年度	120 人	関市総合体育館、 中池体育館など
上之保ほほえみスポーツクラブ	平成 19 年度	1,498 人	上之保小学校、 上之保中学校、 上之保生涯学習センターなど
せき西部ふれあいスポーツクラブ	平成 23 年度	173 人	小金田中学校体育館など

出典：「平成 26 年度 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」

1 総合型地域スポーツクラブの設立支援

①-1 総合型地域スポーツクラブの設立支援

- ・スポーツをみたり体験したりする機会を提供するために、総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

【前期実績】

○せき西部ふれあいスポーツクラブの設立を支援（平成 23 年度）

2 総合型地域スポーツクラブの育成支援

②-1 定期的なクラブ訪問の実施

新規

- ・それぞれの総合型地域スポーツクラブが問題や課題を抱えていないかどうかをクラブ訪問により把握し、問題や課題の早期発見と解消に努め、クラブの活性化を図ります。

【前期実績】

○岐阜県体育協会のアドバイザー等とのクラブ訪問・アドバイス

②-2 クラブへの研修会等の機会の提供

- ・総合型地域スポーツクラブがより自立的に活動し、住民が身近な場所でクラブに参加し、スポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブに対する研修や事業委託などの支援を行います。
- ・クラブを組織的に運営（コーディネート）していく人材を養成していくため、県主催の講習会等を案内し、参加促進を図ります。

【前期実績】

○総合型地域スポーツクラブへの岐阜県主催の啓発研修会の案内

○岐阜県主催の指導者研修会の案内

2 競技スポーツの推進



施策(1) 各種大会・プロスポーツ観戦の場の提供

スポーツイベントや競技大会、試合の開催は、市民が「みる」スポーツをきっかけとして、スポーツを行うことへの動機付けともなります。

また、トップで活躍している一流スポーツ選手の技術を身近に観戦できることや、体験を直接伝えてもらうスポーツ教室等の開催は、スポーツへの関心や興味を高める機会になるとともに、技術力向上へとつながります。

施策(1)

各種大会・プロスポーツ観戦の場の提供

<取り組み>

- ①スポーツ観戦の提供
- ②一流スポーツ選手によるスポーツ教室の開催

1 スポーツ観戦の提供

①-1 スポーツイベント・競技大会・試合の開催

- ・スポーツイベントや大会、試合の開催を積極的に支援するとともに、市民のスポーツへの関心や興味を高める機会としていきます。

【前期実績】

- カローリングジャパンカップの開催
- カローリング日本平成村カップの開催

成果指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
カローリングジャパンカップ	参加チーム	56 チーム	56 チーム	60 チーム	増加
カローリング日本平成村カップ	参加チーム	26 チーム	34 チーム	32 チーム	増加

①-2 関市ラグビーフットボールフェスティバルの開催

- ・市と体育協会との連携により、関市ラグビーフットボールフェスティバルを今後も継続して開催します。
- ・今後は、小中学生や高校生だけでなく、高齢者や障がい者にも参加と観戦の対象を広げていきます。

【前期実績】

○ラグビーフットボールフェスティバルの開催（毎年）

成果指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
ラグビーフットボールフェスティバル	観客数	約 1,300 人	約 2,000 人	約 2,465 人	増加

2 一流スポーツ選手によるスポーツ教室の開催

②-1 プロ・アマチュアスポーツの誘致

- ・一流スポーツ選手によるスポーツ教室を開催し、競技への関心を高めるとともに、技術力の向上を図ります。

【前期実績】

- 広瀬美代子バレーボール教室（平成 25 年度）
- “宝くじスポーツフェア” はつらつまママさんバレーボール（平成 24 年度）
- 2010 植田達哉全日本男子監督・バレーボール指導者研修会及び教室（平成 22 年度）
- 09WINDS バレーボール教室（平成 21 年度）

成果指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
プロ・アマチュアスポーツの誘致	開催回数	1 回	1 回	1 回	維持

施策(2) 選手の育成・強化

競技力向上対策については、基本的には各競技団体が自主的・計画的に強化策を展開していますが、各競技種目からなる体育協会と連携を取り、選手の育成・強化を推進するために、小学生から成年までの一貫した育成・強化を計画的に展開していきます。

施策(2)

選手の育成・強化

<取り組み>

- ①競技力向上への事業の展開
- ②トップアスリートとの交流

1 競技力向上への事業の展開

①-1 各競技団体への支援

- ・国際大会、全国大会で活躍できる選手育成のため、各競技団体の強化策に対して支援事業を進めていきます。

【前期実績】

- 各競技団体の強化策に対する支援の実施 ※体育協会事業

①-2 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成 新規

- ・体育協会と連携して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍する市民の輩出に向けて、選手の育成・強化を図ります。

2 トップアスリートとの交流

②-1 子どもたちとトップアスリートとの交流 新規

- ・トップアスリートからの助言や指導を受けることで、技術力の向上や競技人口の拡大につなげるため、小学校への訪問等、トップアスリートと連携した事業を検討していきます。

3 子どもの運動・スポーツ活動の推進



施策(1) 活動機会の提供

子どもが外遊びや運動に親しみ、その楽しさや喜びを味わうことは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくりにきわめて重要です。子どもたちが運動やスポーツに親しむことができる機会の充実を図っていきます。

子育て世代の週1回以上のスポーツ実施率が低いことから、子育て中の親が子とともに、楽しみながら参加できるスポーツ活動の機会を提供します。

施策(1)

活動機会の提供

<取り組み>

- ①親子での運動・スポーツ機会の充実
- ②子どもの運動・スポーツ機会の充実

1 親子での運動・スポーツ機会の充実

①-1 親子で楽しむ運動・スポーツ教室の開催

新規

- ・親がスポーツをすることで、子どもと一緒にスポーツをするきっかけをつくるため、親子で楽しめる運動・スポーツ教室を開催します。

【前期実績】

- 親子わんぱく体操教室の開催

①-2 運動・スポーツの役割や楽しさを学ぶ機会の提供

新規

- ・子育て中の親を対象として、子どもに運動・スポーツを体験させる大切さや、親子で楽しく実践できる運動・スポーツについて学ぶ研修会等の開催を検討していきます。

2 子どもの運動・スポーツ機会の充実

②-1 運動・スポーツの体験教室の開催

新規

- ・子どもの運動能力を向上させるために、運動・スポーツの体験教室を開催します。

【前期実績】

- ジュニアスポーツ教室の開催

施策(2) スポーツ活動の場の充実

運動・スポーツの日常化のため、子どもたちに身近な場所において、運動・スポーツを行える環境を整えます。

地域においては、子どもたちに豊かなスポーツ体験の場を提供する体制整備が必要となっています。

施策(2)

スポーツ活動の場の充実

<取り組み>

- ①地域におけるスポーツ活動の場の確保
- ②学校施設の開放

1 地域におけるスポーツ活動の場の確保

①-1 スポーツ関係団体との連携

- ・地域でスポーツを行いたい子どもたちのスポーツ活動の場を確保するために、スポーツ関係団体との連携を図ります。

【前期実績】

- 各種目競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブと連携を図ることで、子どもたちのスポーツ活動の場を確保

2 学校施設の開放

②-1 学校施設の開放

- ・小中学校の体育施設は、地域のレクリエーションスポーツ活動の中心となる施設であることから、児童・生徒をはじめ、より多くの地域住民が利用できるよう、より効率的な開放を図っていきます。

【前期実績】

- 小中学校の運動場、体育館の開放

成果指標

事業名	指標	平成19年度実績	平成20年度実績	平成25年度実績	平成31年度目標
学校開放施設の体育館やグラウンドの地域開放	開放施設数	30施設	30施設	30施設	維持

4 支えるスポーツの推進



施策(1) スポーツボランティアの育成・活用

平成28年の第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック、第33回全国健康福祉祭岐阜大会（ねんりんピック）の開催を契機として、市民のスポーツに対する関心が高まることが予想されます。

この関心の高まりを生かし、スポーツボランティアの育成やスポーツボランティア活動の活発化を図ることで、「支える」スポーツを推進していきます。

施策(1)

スポーツボランティア の育成・活用

<取り組み>

- ①スポーツボランティアの育成・活用
- ②学校との連携によるスポーツボランティア活動の推進



1 スポーツボランティアの育成・活用

①-1 スポーツボランティアの育成

- ・スポーツボランティア登録制度を活用して、スポーツボランティアについての講習会の開催等を行い、スポーツボランティアの育成を図ります。
- ・講習会等を通じて、スポーツボランティアの役割や意義などを伝えます。

【前期実績】

○スポーツボランティア登録制度の導入（平成26年度）

①-2 スポーツボランティアの活用

- ・各種スポーツイベントやスポーツ大会等において、スポーツボランティアが活動するための機会を設けます。

成果指標

事業名	指標	平成19年度実績	平成20年度実績	平成26年度実績	平成31年度目標
ボランティアの活用支援	登録ボランティア数	—	—	8人	増加

①-3 スポーツボランティアの普及

新規

- ・スポーツボランティアの役割や意義等について、市民にあまり認知されていないため、スポーツボランティアに関する情報を発信し、普及に努めます。

2 学校との連携によるスポーツボランティア活動の推進

②-1 中高生や大学生によるスポーツボランティア活動の推進

新規

- ・市内の中学校や高校、大学との連携を図りながら、各種スポーツイベントやスポーツ大会等においてボランティア体験をする機会を設け、将来の担い手となるスポーツボランティアとして育成します。

施策(2) スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者は、スポーツのノウハウだけでなく、スポーツの楽しさを伝えるなど、スポーツを広く普及させていく上で重要な役割を担っています。

市のスポーツ推進委員は、これまで地域スポーツの推進に大きな貢献をしてきました。今後も総合型地域スポーツクラブの育成等において、その果たすべき役割はますます重要となるため、資質の向上に努めていきます。

また、スポーツ指導者の資格を持つ人が、市のスポーツ行事等において活躍できる場づくりを進めます。

施策(2)

スポーツ指導者の育成

<取り組み>

- ①スポーツ推進委員の育成
- ②スポーツ指導者の活動機会の創出

1 スポーツ推進委員の育成

①-1 スポーツ推進委員の資質向上

- ・地域住民のスポーツ推進に関し、実技指導や助言、地域組織の育成などの役割を担うことから、正しい知識を持ち、正しく指導ができるよう、研修会等への参加の促進及び支援をしていきます。

【前期実績】

- 各種研修会・研究大会の案内
- 自主的な研修会の開催の支援

成果指標

事業名	指標	平成19年度実績	平成20年度実績	平成25年度実績	平成31年度目標
スポーツ推進委員の研修会開催	研修回数	6回	8回	8回	維持

2 スポーツ指導者の活動機会の創出

②-1 スポーツ指導者の活動機会の創出

新規

- ・スポーツ指導者の資格を持っている人が、市主催のスポーツ教室や地域でのスポーツ活動において、指導できる場や活躍できる場を設けます。

5 スポーツ環境の諸整備



施策(1) 施設・設備の整備・充実

身近な施設で気軽にスポーツを楽しみ、健康であり続けたいと望む気持ちは市民の多くが抱いている願いです。一方、年齢や体力に応じたスポーツを自ら進んで継続的に楽しむための施設・設備の整備・充実や既存施設の利活用が重要です。

施策(1)

施設・設備の整備・ 充実

< 取り組み >

- ① 学校施設の開放
- ② 誰もが利用しやすい施設の整備

1 学校施設の開放

①-1 学校施設の開放【再掲】

- ・ 小中学校の体育施設は、地域のレクリエーションスポーツ活動の中心となる施設であることから、児童・生徒をはじめ、より多くの地域住民が利用できるよう、より効率的な開放を図っていきます。

【前期実績】

○小中学校の運動場、体育館の開放



2 誰もが利用しやすい施設の整備

②-1 総合体育館の一般開放

- ・総合体育館メインアリーナを一般開放するとともに、多くの市民の利用促進を図るため、周知の強化を図ります。

【前期実績】

○総合体育館の一般開放

成果 指標

事業名	指標	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 31 年度 目標
総合体育館の一般開放	開放回数	20 回	22 回	23 回	維持

②-2 安全・安心のスポーツ環境づくり

- ・既存の体育施設、広場や公園等の安全確保や、自然を活かしたウオーキングコースづくりなど、安全で人にやさしいスポーツ環境づくりを検討します。

【前期実績】

○中池ファミリーパークやウオーキングコース案内表示（市役所周辺、本町周辺、中池周辺）の整備

②-3 スポーツ施設の構造・設備の改修

- ・公共スポーツ施設における段差の解消や手すりの設置など、可能な限り、施設の構造・設備の改修を進め、高齢者や障がい者にとってスポーツやレクリエーションに参加しやすい環境を整備します。

【前期実績】

○改修が必要な施設における改修の実施

施策(2) スポーツ関係団体との連携・支援

スポーツ活動をより充実させるには、行事や大会等の活動プログラムの提供や練習・大会等の会場確保、会員を確保するための協会やクラブといった組織が必要となります。それぞれの団体やクラブが自主的な運営のもとで、充実した活動を展開できるよう協力・支援をしていきます。

選手の育成・強化についても、基本的には各競技団体やクラブが自主的・計画的に実施していくなかで、必要に応じた各競技団体やクラブへの支援をしていきます。

施策(2)

スポーツ関係団体との連携・支援

<取り組み>

- ①スポーツ関係団体との連携・支援

1 スポーツ関係団体との連携・支援

①-1 体育協会との連携

- ・体育協会と連携することにより、各種スポーツ教室やスポーツ大会を充実していきます。

【前期実績】

- 各種スポーツ教室の充実
- 自治会対抗スポーツ大会の充実

①-2 スポーツ関係団体の自主的な活動支援

- ・体育協会やスポーツ少年団等への自主的な活動の支援を行います。

【前期実績】

- 関市スポーツ少年団事業補助金の適正運用

成果指標

事業名	指標	平成19年度実績	平成20年度実績	平成25年度実績	平成31年度目標
スポーツ少年団の育成	加入する児童の割合	29.7%	30.3%	25.5%	増加

施策(3) 情報の収集・提供

市民にわかりやすくスポーツ情報を提供するためのシステムや、スポーツ施設の予約システムの構築を検討するとともに、これらのシステムを通して利用者の声を聴き、市のスポーツ推進に生かせるよう努めます。

施策(3) 情報の収集・提供

<取り組み>

- ①スポーツ情報コーナーの設置と充実
- ②インターネット活用による情報提供
- ③効果的な広報の充実

1 スポーツ情報コーナーの設置と充実

①-1 スポーツ情報コーナーの設置箇所の拡充

- ・総合体育館のほか、図書館、支所の窓口などにスポーツ情報のコーナーを設置し、誰でも気軽に閲覧できるよう整備します。冊子等の定期的な更新に努めます。

【前期実績】

- 総合体育館にラックを設置してスポーツ関連の冊子等を配置

①-2 スポーツ情報コーナーの周知

新規

- ・スポーツ情報コーナーを多くの市民に利用されるよう、広報せきやホームページ等を活用してPRします。



2 インターネット活用による情報提供

②-1 スポーツ施設予約システムの構築

- ・利用者登録により、家庭のパソコンか携帯電話などを使って公共施設の抽選申込みや利用申込み、空き状況の照会ができる施設予約システムの構築を検討します。

【前期実績】

○市ホームページ「関市公共施設案内」で施設の空き状況の照会を実施

②-2 市ホームページの充実と定期的な更新

- ・スポーツに関する様々な情報を集約し、目的別に情報が得られるホームページを作成し、その活用を図ります。ホームページの定期的な更新に努めます。

【前期実績】

○市ホームページ「暮らしの情報」でスポーツ情報を発信

3 効果的な広報の充実

③-1 多様なスポーツ情報の発信

新規

- ・地域に根付いているスポーツ活動や市内の優れたスポーツ指導者等の情報を収集し、広く周知します。

③-2 スポーツ特集号の発行

新規

- ・市民のスポーツに対する関心喚起のため、「オリンピック・パラリンピック特集」、「ラグビー特集」など、近く開催が予定されている国際大会などの旬のテーマを題材にしたものや、「子育て世代向けのスポーツ」、「高齢者向けのスポーツ」などターゲット別のスポーツを題材にした、スポーツ特集号を定期的に発行します。

◆基本目標ごとの施策・取り組み一覧

基本目標	施策	取り組み	頁
生涯スポーツの推進	活動機会の提供	①身近な地域で参加できるスポーツ事業の推進	15
		②健康・体力づくり運動の促進	17
		③子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進	17
		④高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進	18
	総合型地域スポーツクラブの育成	①総合型地域スポーツクラブの設立支援	20
		②総合型地域スポーツクラブの育成支援	20
競技スポーツの推進	各種大会・プロスポーツ観戦の場の提供	①スポーツ観戦の提供	21
		②一流スポーツ選手によるスポーツ教室の開催	22
	選手の育成・強化	①競技力向上への事業の展開	23
		②トップアスリートとの交流	23
子どもの運動・スポーツ活動の推進	活動機会の提供	①親子での運動・スポーツ機会の充実	24
		②子どもの運動・スポーツ機会の充実	24
	スポーツ活動の場の充実	①地域におけるスポーツ活動の場の確保	25
		②学校施設の開放	25
支えるスポーツの推進	スポーツボランティアの育成・活用	①スポーツボランティアの育成・活用	27
		②学校との連携によるスポーツボランティア活動の推進	27
	スポーツ指導者の育成	①スポーツ推進委員の育成	28
		②スポーツ指導者の活動機会の創出	28
スポーツ環境の諸整備	施設・設備の整備・充実	①学校施設の開放	29
		②誰もが利用しやすい施設の整備	30
	スポーツ関係団体との連携・支援	①スポーツ関係団体との連携・支援	31
	情報の収集・提供	①スポーツ情報コーナーの設置と充実	32
		②インターネット活用による情報提供	33
		③効果的な広報の充実	33

第5章 推進に向けて

1 推進体制

(1) 関係機関・市民との連携協力

本計画に掲げる施策を総合的・効果的に推進していくため、関市と岐阜県、学校、企業、市内スポーツ関係諸団体、県スポーツ関係諸団体、社会教育団体、総合型地域スポーツクラブ、地域の団体、施設の管理者など、市民、行政、関係機関が、お互いの活動や特性を理解、尊重し合いながら連携を密にし、互いに協力できる体制整備に努めます。

これからのスポーツは、市民が主体的に推進する事業展開が望まれ、市民自らの手により、スポーツを通じて豊かで活力に満ちた社会づくりのため、本計画の施策を主体的に推進するよう、意識が醸成されることが必要不可欠であります。

(2) 本市の各部署間における連携協力

本計画に掲げた施策の多くは、本市のあらゆる部署に関わることから、高齢者福祉、健康づくり、次世代育成、都市計画（まちづくり）、学校教育、生涯学習、青少年健全育成などをはじめとする、保健福祉、建設、教育などの関係部署の連携・協力や共通理解の促進を図ります。



2 計画の評価と進行管理

計画の適切な進行管理を進めるために、「関市スポーツ推進審議会」を中心に施策の進行状況について把握するとともに、各種施策の推進や新たな課題への対応などに向けて意見を聴き、今後の施策運営に役立てていきます。

また、市民ニーズへの的確な対応、社会情勢や国の動向の変化に的確かつ柔軟に対応するためにも、この計画の進行管理は、「PDCAサイクル」による「継続的改善」の考え方を基本とします。

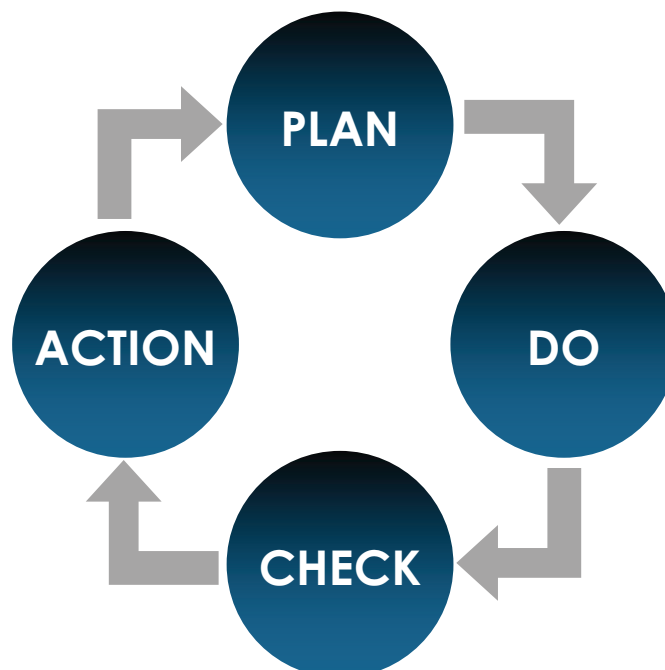
P=PLAN（プラン）（この計画の具体的な事業など）

D=DO（ドゥ）（実行）

C=CHECK（チェック）（点検・評価）

A=ACTION（アクション）（見直し）

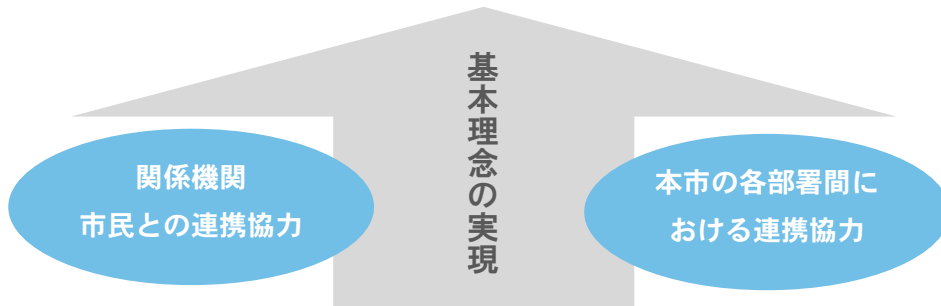
このサイクルは、個々の事業ごとにP→D→C→Aと回り、再度、見直し後のPにもどり、具体的事業の改善点を把握し、新たなサイクルを回していくことにより、事業の継続的な改善を図る（充実させる）ことを年度ごとに繰り返していきます。



◆関市におけるスポーツ推進のイメージ

【基本理念】
**「いつでも、どこでも身近で気軽に
 スポーツを楽しめるまち せきし」**
 ～ 1市民1スポーツで“みんなでハッピーライフ”～

⇒P11 参照



【基本目標】

生涯スポーツの
推進

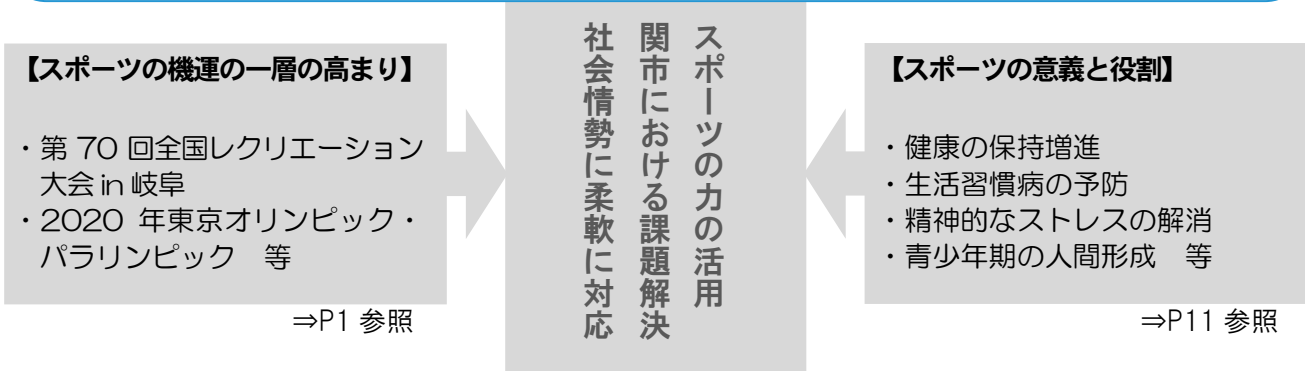
競技スポーツの
推進

子どもの運動・スポーツ
活動の推進

支えるスポーツの
推進

スポーツ環境の
諸整備

⇒P12 参照



【関市におけるスポーツ推進の課題】

課題1

子どもの体力向上・
スポーツ活動の推進

課題2

ライフステージ・ライフスタイルに応じた
スポーツ活動の推進

課題3

「支える」スポーツの
推進

課題4

スポーツ情報の効果的な発信

⇒P10 参照

1 関市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、関市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、関市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて次に掲げるスポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) 法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) 法第35条の規定により補助金の交付について意見を述べること。
- (3) スポーツ施設及び設備の整備に関すること。
- (4) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (5) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (6) スポーツの団体の育成に関すること。
- (7) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (8) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (9) 総合型地域スポーツクラブの設立及び育成に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員10人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) スポーツに関する学識経験者
 - (2) 関係行政機関の職員
- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 教育委員会は、委員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、これを解任することができる。
- (1) 職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
 - (2) 職務上の義務に違反し、又はその職務を怠ったとき。
 - (3) 委員としてふさわしくない非行があったとき。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 審議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、説明又は意見を聴くことができる。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

2 関市スポーツ推進審議会委員

NO.	氏名	役職	備考
1	酒井田 定男	一般財団法人関市体育協会会長	会長
2	遠藤 俊三	関市自治会連合会副会長	副会長
3	小栗 昭義	関市スポーツ推進委員会会長	
4	神谷 秀幸	関市スポーツ少年団本部長	
5	遠藤 和子	関市地域女性の会連合会副会長	
6	塚原 隆文	関市小中学校長会会長	
7	古田 善伯	中部学院大学 学長	
8	水野 かがみ	中部学院大学 教授	
9	喜久生 明男	スポーツドクター	
10	寺町 義昭	関市陸上競技協会会長	

関市スポーツ推進計画
後期計画

平成27年3月

発行：関市教育委員会 スポーツ推進課
住所：関市若草通2丁目1番地
電話：0575-23-7766

関市スポーツ推進計画
後期計画